

J-クレジット制度
排出削減プロジェクト・
森林管理プロジェクト
妥当性確認報告書

プロジェクトの名称：

中部大学における太陽光発電設備の導入プロジェクト

妥当性確認 機関名	一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター
--------------	--------------------------

発行日 2016年 11月 15日

1 妥当性確認機関の情報

※ 本項目は、J-クレジット制度認証委員会資料として使用されます。

※ 「判断の根拠」に関する項目については、根拠としたプロジェクト計画書等の章番号、該当頁等を記載するとともにその妥当性について記載すること。(以下、本文書を通じて同様)

機関名称	一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター
プロジェクトの関係者との利害 抵触	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
判断の根拠	一般社団法人日本能率協会地球温暖化対策センターの規程に基づき、検証機関とプロジェクト実施事業者及び審査員とプロジェクト実施事業者との利害相反分析を行い、利害関係のないことを確認した。

2 プロジェクト実施者の情報

※ 本項目は、J-クレジット制度認証委員会資料として使用されます。

プロジェクト代表実施者 ※プログラム型プロジェクトの場合、「プログラム型運営・管理者」を記載すること。	学校法人 中部大学
プロジェクト実施者（代表者以外） ※プログラム型プロジェクトの場合、「削減活動の実施者」を記載すること。	—
低炭素社会実行計画への参加実態 ※すべてのプロジェクト実施者についてプロジェクト計画書の記載内容と実態が整合しているかを確認すること	<input type="checkbox"/> 整合している <input type="checkbox"/> 整合していない <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし
温対法特定排出者 ※すべてのプロジェクト実施者についてプロジェクト計画書の記載内容と実態が整合しているかを確認すること	<input checked="" type="checkbox"/> 整合している <input type="checkbox"/> 整合していない <input type="checkbox"/> 該当なし
省エネ法報告対象者 ※すべてのプロジェクト実施者についてプロジェクト計画書の記載内容と実態が整合しているかを確認すること	<input checked="" type="checkbox"/> 整合している <input type="checkbox"/> 整合していない <input type="checkbox"/> 該当なし

3 妥当性確認結果（総括）

※ 本項目は、J-クレジット制度認証委員会資料として使用されます。

妥当性確認実施期間		<input type="checkbox"/> プロジェクトの実施前 <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクトの実施後
プロジェクト名		中部大学における太陽光発電設備の導入プロジェクト
認証予定期間 ※実施要綱に定められた認証対象期間内に設定されていることを確認して記載すること。		2016年12月21日 ～ 2024年12月20日
適用方法論	方法論番号	EN-R-002 Ver. 1.0
	方法論名称	太陽光発電設備の導入
想定排出削減量・想定吸収量	認証予定期間の合計値	1,096 t-CO ₂
プロジェクト実施者と合意した妥当性確認の前提	妥当性確認の基準 ※適用した制度文書類のバージョンを記載すること	文書名：実施要綱 Ver.3.0 文書名：実施規程（プロジェクト実施者向け） Ver.3.0 文書名：実施規程（審査機関向け） Ver.1.2 文書名：モニタリング・算定規程 Ver.2.5
	目的 ※プロジェクトの実施によって、プロジェクト計画書に記載された削減量・吸収量が実際に生じる見込みに対する評価を行うことも目的に含めて記載すること	プロジェクト事業者が作成したプロジェクト計画書に記載された内容について、上記記載の実施要綱、実施規程、モニタリング・算定規程、方法論に準拠していること、プロジェクト計画書に記載された削減量が実際に生じる見込みに対する評価も含めて確認することを目的とした。

	範囲 ※妥当性確認の範囲がプロジェクト計画書の範囲であることを記載すること	プロジェクト計画書に記載された本プロジェクトに係る範囲
	保証水準 ※妥当性確認の結論を意見として表明する際に採用した水準を記載すること	合理的保証
妥当性確認手続 ※現地審査の実施有無について記載すること ※また、実際に実施した手続、スケジュールについて、サンプリング手法も含めて記載すること	<input checked="" type="checkbox"/> 現地審査を実施した（2016年10月27日に訪問） <input type="checkbox"/> サンプリングで現地審査を実施した（ 年 月 日に訪問） <input type="checkbox"/> 現地審査を実施していない	2016年10月27日に現地審査を実施し、当センターのチェックシートに基づき現地目視、根拠資料の確認、関係者へのインタビューを行った。
修正・指摘事項及び解決方法 ※4における結果を総括し、排出削減量又は吸収量に影響を与える可能性のある、主な指摘事項について記載すること	妥当性確認審査にて発見された排出削減量に影響を与える主な修正・指摘事項は、下記のとおりである。プロジェクト関係者から追加資料の提出、記載の修正等の対応により、当該事項全てが解決されたことを確認した。	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト実施後の付随的な排出量の計算方法を見直すことを指摘（パワーコンディショナーの台数に従って計算） ・追加性に関する情報の投資回収年数の計算に関して以下を指摘 <ul style="list-style-type: none"> ・使用される燃料費（電力料金）はプロジェクト開始前の直近1年間の平均単価を計算に使用するよう指摘 ・補助金額が一部計算に使われておらず見直すことを指摘
妥当性確認結果	確認結果	<input checked="" type="checkbox"/> 無限定適正 <input type="checkbox"/> 不適正 <input type="checkbox"/> 意見不表明
	意見・結論 ※4における結果を総括し、確認結果における意見の理由を記載すること	当会は、学校法人中部大学が作成したプロジェクト計画書（プロジェクト名：中部大学における太陽光発電設備の導入プロジェクト）に記載された温室効果ガス排出量削減情報は、J-クレジット制度における実施要綱、実施規程、モニタリング・算定規程、方法論に基づいて作成されていることを確認し、全ての重要な点において適正であると認める。